

2: 急性骨髄性白血病(AML)【成人】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
今橋 伸彦	The University of Texas MD Anderson Cancer Center	Stem Cell Transplantation & Cellular Therapy
小澤 幸泰	名古屋第一赤十字病院	血液内科
加藤 淳	慶應義塾大学病院	血液内科
金森 平和	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
黒澤 彩子	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
鋤塚 八千代	名古屋大学医学部附属病院	先端医療・臨床研究支援センター
澤 正史	安城更生病院	血液・腫瘍内科
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
高見 昭良	愛知医科大学内科学講座	血液内科
田口 潤	長崎大学病院	血液内科(原研内科)
田中 正嗣	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
増岡 和宏	国家公務員共済組合連合会 三宿病院	血液内科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・血液内科
山下 卓也	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
吉原 哲	兵庫医科大学病院	血液内科
石山 謙	金沢大学附属病院	血液内科
臼杵 憲祐	NTT 東日本関東病院	血液内科
太田 秀一	札幌北榆病院	内科
高田 覚	群馬県済生会前橋病院	血液内科
宮本 敏浩	九州大学病院	血液腫瘍内科
近藤 忠一	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
杉田 純一	北海道大学病院	血液内科
町田 真一郎	東海大学医学部付属病院	血液腫瘍内科
青木 淳	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
森 甚一	東京大学医科学研究所	ヒトゲノム解析センター
大中 貴史	小倉記念病院	血液内科
後藤 守孝	東京医科大学病院	血液内科
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
土岐 典子	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
青木 一成	京都大学大学院医学研究科	血液・腫瘍内科学

杉盛 千春	石川県立中央病院	血液内科
立花 崇孝	横浜市立大学附属病院	リウマチ・血液・感染症内科
山崎 聡	独立行政法人国立病院機構 九州医療センター	血液内科
新井 康之	米国国立衛生研究所 (National Institutes of Health)	
水谷 元紀	愛知医科大学病院 内科学講座	血液内科
飯田 浩充	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	細胞療法科
大屋敷 一馬	東京医科大学病院	血液内科
木田 理子	NTT 東日本関東病院	血液内科
清水 啓明	群馬大学医学部附属病院	血液内科
竹田 淳恵	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
水野 昌平	愛知医科大学病院	血液内科
柳田 正光	藤田保健衛生大学	血液内科
河田 岳人	京都大学大学院医学研究科	血液腫瘍内科
原田 介斗	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
水牧 裕希	金沢大学附属病院	血液内科

2. 承認研究の進捗状況(2015年1月-12月 ※JSHCT2016を含む)

2-1	「AML患者に対する RIST の有用性に関する研究-骨髄移植と末梢血幹細胞移植の比較-」 PI:青木淳
<p>学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績: Aoki J, Kanamori H, Tanaka M, Yamasaki S, Fukuda T, Ogawa H, Iwato K, Ohashi K, Okumura H, Onizuka M, Maesako Y, Teshima T, Kobayashi N, Morishima Y, Hirokawa M, Atsuta Y, Yano S, Takami A.</p> <p>Impact of age on outcomes of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation with reduced intensity conditioning in elderly patients with acute myeloid leukemia.</p> <p><i>Am J Hematol.</i> 2015 [Epub]</p>	
2-2	「フィラデルフィア染色体陰性骨髄増殖性腫瘍から発展した二次性急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の解析」 PI:高木伸介
<p>学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績:</p>	
2-3	「成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による自家造血幹細胞移植の治療成績」 PI:山下卓也
<p>学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績:</p>	
2-4	「成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績」 PI:山下卓也
<p>学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績:</p>	
2-5	「初回寛解導入不応・再発非寛解期の急性骨髄性白血病に対する同種移植の予後解析」 PI:横山洋紀
<p>学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績:</p>	

2-6	「各染色体分類における急性骨髄性白血病に対する同種移植の予後の比較」 PI: 横山洋紀
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
2-7	「急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植後の再発リスク因子解析」 PI: 矢野真吾
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
2-8	「AML 移植後再発に対する DLI の有用性と予後予測因子の解析」 PI: 高見昭良
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
2-10	「AML に対する緩和的前処置移植における低用量 TBI の必要性」 PI: 青木淳
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績: Aoki J, Seo S, Kanamori H, Tanaka M, Fukuda T, Onizuka M, Kobayashi N, Kondo T, Sawa M, Uchida N, Iwato K, Ichinohe T, Atsuta Y, Yano S, Takami A. Impact of low-dose TBI on outcomes of reduced intensity conditioning allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for AML. <i>Bone Marrow Transplant.</i> 2015 [Epub]	
2-11	「第一寛解期 AML に対する自家造血幹細胞移植の有用性と予後予測因子の解析 (HLA 一致同胞からの同種移植成績との比較)」 PI: 水谷元紀
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績: Mizutani M, Hara M, Fujita H, Aoki J, Kanamori H, Ohashi K, Usuki K, Fukuda T, Chou T, Tanaka J, Atsuta Y, Takami A. Comparable outcomes between autologous and allogeneic transplant for adult acute myeloid leukemia in first CR. <i>Bone Marrow Transplant.</i> 2016 [Epub]	
2-12	「AML-M6/M7 に対する造血幹細胞移植」 PI: 石山謙
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
2-13	「予後不良染色体異常 (3 番染色体、5 番染色体、7 番染色体、11 番染色体の異常、複雑核型) を有する骨髄系腫瘍 (AML および MDS) 症例の移植成績」 PI: 増子正義
学会発表:	
論文業績:	
2-14	「AML における MPO 陽性芽球比率が同種造血幹細胞移植成績に与える影響についての解析」 PI: 田口潤
学会発表:	
論文業績:	
2-15	「多系統の形態異常を伴う AML (WHO 分類) における同種造血幹細胞移植についての解析」 PI: 田口潤
学会発表:	
論文業績:	
2-20	「biphenotypic acute leukemia に対する造血幹細胞移植の成績」 PI: 森基一
学会発表:	
論文業績: Mori J, Ishiyama K, Yamaguchi T, Tanaka J, Uchida N, Kobayashi T, Fukuda T, Kanamori H, Miyamura K, Takahashi S, Eto T, Hirokawa M, Mori S, Nagamura T, Atsuta Y, Takami A. Outcomes of allogeneic hematopoietic cell transplantation in patients with biphenotypic acute leukemia. <i>Ann Hematol.</i> 2015 [Epub]	

2-21	「成人 AML に対する同種造血幹細胞移植における細胞遺伝学的リスク層別化システム (Cytogenetic Risk Stratification System : CRSS) の開発」 PI: 山下卓也
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
2-22	「中枢神経浸潤を伴った急性骨髄性白血病に対する造血細胞移植」 PI: 青木淳
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
2-23	「成人 AML に対する iv Busulfan を用いた骨髄破壊的移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績」 PI: 山下卓也
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
2-24	「成人 AML に対する iv Busulfan を用いた骨髄非破壊的移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績」 PI: 山下卓也
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
2-25	「高齢者急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の適応に関する検討」 PI: 山崎聡
学会発表:	
論文業績:	
2-26	「フィラデルフィア染色体陰性骨髄増殖性腫瘍から発展した二次性急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の解析 (二次調査)」 PI: 高木伸介
学会発表:	
論文業績:	
2-27	「亜ヒ酸の臨床導入後における再発 APL に対する自家移植の成績」 PI: 柳田正光
学会発表:	
論文業績:	
2-28	「同種移植後生着不全に影響を及ぼす因子の解析」 PI: 石山謙
学会発表:	
論文業績:	
2-29	「同種臍帯血移植前処置における大量シタラビン追加の予後に与える影響」 PI: 新井康之
学会発表: Arai Y et al. 57th Annual Meeting of the American Society of Hematology (Dec 4-8, 2015), Orland	
論文業績: Arai Y, Takeda J, Aoki K, Kondo T, Takahashi S, Onishi Y, Ozawa Y, Aotsuka N, Kouzai Y, Nakamae H, Ota S, Nakaseko C, Yamaguchi H, Kato K, Atsuta Y, Takami A; AML and MDS Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation.	
Efficiency of high-dose cytarabine added to CY/TBI in cord blood transplantation for myeloid malignancy.	
<i>Blood</i> 2015;126(3):415-22.	
2-30	「同種骨髄・末梢血幹細胞移植前処置における大量シタラビン追加の予後に与える影響」 PI: 新井康之
学会発表: Arai Y et al. 57th Annual Meeting of the American Society of Hematology (Dec 4-8, 2015), Orland	
論文業績: Arai Y, Aoki K, Takeda J, Kondo T, Eto T, Ota S, Hashimoto H, Fukuda T, Ozawa Y, Kanda Y, Kato C, Kurokawa M, Iwato K, Onizuka M, Ichinohe T, Atsuta Y, Takami A; AML and MDS Working Group of Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation.	
Clinical significance of high-dose cytarabine added to cyclophosphamide/total-body irradiation in bone marrow or peripheral blood stem cell transplantation for myeloid malignancy.	
<i>J Hematol Oncol.</i> 2015;8:102.	

2-31	「AMLに対する臍帯血移植における Fludarabine/Melphalan と Fludarabine/Busulphan を用いた緩和的前処置の比較」 PI: 青木淳
学会発表: 論文業績:	
2-32	「第一寛解期 AML における自家末梢血幹細胞移植と HLA 一致非血縁者間同種骨髄移植との予後比較」 PI: 水谷元紀
学会発表: Mizutani M et al. 2016 BMT Tandem Meetings (Feb 18-22, 2016), Honolulu 論文業績:	
2-33	「trisomy8 を有する急性骨髄性白血病の同種造血細胞移植の予後因子解析」 PI: 小沼貴晶
学会発表: 論文業績:	

3. 会議開催記録(2015年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2015年1月10日	国立がん研究センター	研究の進捗状況の確認と新規研究の検討
2015年7月5日	名古屋第一赤十字病院	研究の進捗状況の確認と新規研究の検討

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2015年12月末時点まで)

(992)回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

成人 AML-WG は今年 10 人の新しいメンバーを迎え、総計 48 人で研究活動を行っています。成人 AML のメンバーが自主的に研究を立案し、生物統計専門家のご指導を賜りながら、WG 内で活発な意見交換を行い、臨床に還元できる質の高い研究を目指しています。2015 年はメンバーの奮励により 6 報の原著論文を報告することができました。今後も貴重な一元管理データを活用し、魅了ある研究を邁進していく所存です。